



きよさとっ子

清里っ子かがやきフェスタ ～深めたい、伝えたい、わたしたちの学び～

校長 齋藤 伸夫

10月22日（土）に「清里っ子かがやきフェスタ ～深めたい、伝えたい、わたしたちの学び～」を開催いたします。以前は「文化祭」として行っていましたが、日常の学習とのつながり、子どもの発信力育成、地域に学ぶという観点から、「学習発表会」と「体験活動」を組み合わせで行うものとなりました。

【各学年の発表内容】

- ◎1年（きずな学年）…清里小学校の中を探検したり、いろいろな「人」や「もの」と仲よくなったりしてきた学びを紹介します。
- ◎2年（たいよう学年）…生活科で野菜を育てて分かったことや気付いたことを、国語の学習「食べるのはどこ」と合わせて発表します。
- ◎3年（よつば学年）…皆さんにもっと知ってほしい「私たち清里のお宝」！3年生の思いや考えと共にお伝えします。
- ◎4年（あおぞら学年）…豊かな清里の水を未来に残すために私たちにできることは何だろう。日本、世界の水問題を取り上げながら、今の思いをお伝えします。
- ◎5年（かなで学年）…稲文字、田植え、観察、稲刈り、そしてお米の販売や今後の予定などと共に、かなで米を育てた学校田の活動にかける思いを発表します。
- ◎6年（ゆめ学年）…「清里の今と未来」について、修学旅行で学習してきたことや、清里を活性化させるための取組について発表します。

感染拡大防止の観点から地域の皆様にご覧いただけないことが残念ですが、生活科・総合的な学習の時間を中心にこれまで学んできたことと考えたこと・取り組んでいることを子どもたちは精一杯発表します。また、子どもたちが普段あまり体験することのない制作活動等を行うにあたり、多くの地域皆様から講師としてご協力いただきます。地域に学び、地域で育つことのできる清里っ子たちは本当に幸せです。

※フェスタの様子は、後日、HPや学校だよりで紹介させていただく予定です。



生活科の発表（昨年度）



総合的な学習の発表（昨年度）



地域講師による体験活動（昨年度）



先日、1年生が飼育しているヤギが小屋から逃げ出してしまった際、保護して学校に戻してくださった方がいらっしゃいました。おかげさまでヤギは無事でした。休日だったため学校の対応が遅れてしまい、ご迷惑・ご心配をお掛けしてしまい、申し訳ございませんでした。匿名ということでしたので、紙面を借りて、お礼とお詫びを申し上げます。本当にありがとうございました。



9月のトピック

HPはこのQRコードから閲覧できます→



9/8～9 自然教室

緑の少年団員としての心構えと、帽子・バンダナを身につけた4・5年生が妙高青少年自然の家に一泊してきました。草ざり、秘密基地づくり、妙高アドベンチャーなど自然や仲間と存分にかかわった2日間でした。



9/13 稲文字学校田稲刈り

「夢」の文字に願いを込めた田植えから5か月。4・5・6年生が、地域の方の協力のもと稲刈りをしました。刈る・まるける・運ぶなど役割を分担し、協力して作業を進めました。コシヒカリ、こがねもちも豊作。みんなで喜びました。



9/21 ヤギさんを迎える会

生後4か月の白ヤギさんを、校歌を歌ったり、写真を撮ったりして、1年生が温かく迎えました。たくさんの願いを込めて「ダイくん」と命名。毎日お世話をしたり、ふれ合ったりしています。いつでも会いに来てください。



9/21 地域の方との交流

5・6年生が「地域を元気に」をキーワードにそれぞれ地域の方と思いを交流しました。収穫したお米を味わってほしい！清里を盛り上げたい！10月19日(水)朝市とコラボして、米販売を企画運営します。



9/22 栗拾い

2年生が生活科の学習で、学校近くの堀川さんの土地で栗拾いをさせていただきました。「初めて栗拾いをした」「長靴でイガを開く方法に驚いた」など、体験を通してたくさんの栗と秋の学びを持ち帰ることができました。



9/30 なかよし遠足

絶好の秋晴れの下、縦割り班で力を合わせて、校区内や学校に設置されたその場所にちなんだクイズ、協力するゲームを楽しみました。地域の公園やトイレもお借りして楽しく安全に過ごし、秋を満喫した一日となりました。



第2回学校運営協議会 9月27日



清里小学校単独での学校運営協議会を開催しました。子どもたちの学習の様子を参観していただいたあと、協議を行いました。各委員から建設的な意見が出され、有意義な熟議ができました。熟議の内容を教育活動の改善・発展につなげると共に、情報発信の工夫も進めたいと思います。

- ◆コロナ禍、工夫して教育活動を推進されている。子どもたちが地域のよさを実感することで、地域を支えようとする姿を目指して、今後も教育を進めることが肝要。
- ◇いじめやトラブルは教育相談やアンケート、カウンセラー対応など学校体制で取り組んでいるが、意見箱を設置するなど、より即時対応が必要。
- ◆主体的な学習者を目指す家庭学習をはじめ、諸活動の目的を学校と家庭、子どもたちが共有し、「考えることが楽しい」姿を目指すことが大切。

